土質ボーリング柱状図（標準貫入試験）

調　査　名　一級河川高梁川水系田黒川外　測量設計業務委託（災害査定）

事業名 または 工事名　一級河川高梁川水系田黒川外　測量設計業務

調査目的及び調査対象　河川 構造物基礎

ボーリング名	R2-BP.2	**調査位置**	広島県庄原市西城町平子			**北緯**	34° 54′ 59.7447″
発注機関	広島県北部建設事務所　庄原支所			**調査期間**	2020年 10月 30日 ～ 2020年 11月 4日	**東経**	133° 06′ 34.0507″
調査業者名		**管理技術者**		**照査技術者**		**コア鑑定者**		**ボーリング責任者**	
孔口標高	T.P. 295.67m	**角度**	180° 上下 90° 0°	**方位**	北 0° 90°東 180°南 270°西	**地盤勾配**	水平0° 鉛直90°	**使用機種**	**試錐機**	YBM製YBM-1WA型
総削孔長	12.00m								**エンジン**	ヤンマーTF120V-E型	**ポンプ**	YBM製GP-5型

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	現場土質名（模様）	現場土質名	地盤材料の工学的分類	色調	相対密度	相対稠度	地質時代名	記事	孔内水位／測定日
	295.32	0.35		玉石		雑灰				河床転石、コンクリート（構造物片）。	
	294.77	0.90		礫混り粘性土		暗褐				φ5～10mm程度の礫が少量混じり、基質は砂質粘性土。	
1～4	291.22	4.45		砂礫		暗褐～褐～灰褐	中ぐらい			河床砂礫層。 0.9～3.45m間は、基質が中砂～細礫主体の流れマサ主体の砂礫。 3.45～3.7m間はφ5～15mm程度の礫が主体。	
	290.92	4.75		粘性土		褐		軟らかい		非常に緩い粘性土の薄層。指圧で貫通する。	
5～6	289.37	6.30		粘性土質砂礫		淡褐	中ぐらい			下位の強風化変質岩起源の河床堆積物。 粘性土～砂～φ10mm程度までの中礫からなる。	
7～9	286.22	9.45		砂岩・泥岩・礫岩互層		灰褐～褐灰				第三紀備北層群の砂岩泥岩礫岩が強風化変質し軟弱化が顕著。 砂岩泥岩礫岩部分が数cm～十数cm間隔の縞状を呈している。 特に泥岩部が変質進行し軟弱。砂岩礫岩部分は軽い指圧で容易に崩れる	
	285.92	9.75		粘性土		暗褐	非常に緩い	軟らかい		非常に軟弱な細礫混り粘性土を挟む。 肉眼では沖積粘性土の様を呈している。	
10～12	283.67	12.00		砂岩・泥岩・礫岩互層		雑褐灰				第三紀備北層群の砂岩泥岩礫岩が強風化変質している。 砂岩泥岩礫岩部分が数cm～十数cm間隔の縞状を呈している。 特に泥岩部が変質し軟弱化。砂岩礫岩部分は指圧で容易に崩れる	

標準貫入試験

深度－N値図

深度 (m)	N値	100mmごとの打撃回数 0～100	100～200	200～300	打撃ごとの貫入量	50回の貫入量	自沈時の貫入量
1.15		10	18	21	49/300		
1.45	49						
2.15		7	7	10	24/300		
2.45	24						
3.15		6	8	10	24/300		
3.45	24						
4.15		6	8	11	25/300		
4.45	25						
5.15		5	5	5	15/300		
5.45	15						
6.15		5	5	7	17/300		
6.45	17						
7.15		10	13	27	50/300	300	
7.45	50						
8.15		4	5	7	16/300		
8.45	16						
9.15		6	9	8	23/300		
9.45	23						
10.15		9	11	15	35/300		
10.45	35						
11.15		12	12	13	37/300		
11.45	37						
12.15		11	13	13	37/300		
12.45	37						

試料採取 深度 (m)	試料番号	採取方法	原位置試験 室内試験	削孔月日
				10/31
				11/2
				11/3